

シニアカーの安全な利用について

三原市においてシニアカーが転落し高齢者が亡くなる事故が発生しました。

シニアカーの安全な利用のポイントを
専門家の方に聞いてみました。

※シニアカーに座った際の視界

スズキ広島自販
腰本さん

教えてください！



1. 前方をしっかりと見て運転を

ハンドル中央の操作盤に気を取られがちですが、前方をしっかりと見て運転しましょう。「脇見」や「ながら運転」は危険なので絶対にしないようにしましょう。

2. 安全な道を走行しましょう

大きな段差がある場所や急な傾斜地、ガードレールがない場所等は転倒・転落の危険があります。安全な道を走行しましょう。

3. 電源スイッチをOFFにして乗り降りしましょう

電源スイッチを入れたまま乗り降りすると、誤ってアクセルレバーに手があたり急発進する恐れがあるため危険です。座った状態で電源スイッチを操作しましょう。

シニアカーの大きさの制限



例えば、買物に便利だからと、自分でカゴを取り付けるなど車体の大きさが変わると..

「車両」「くるま」と見なされ
歩道を通ることができなくなります。

安全に通行するためにも
自分で改造することはやめましょう

【除外】

身体の状態により、左の基準に適合する車いすを使用できない人が
やむを得ず使う車いすで住所地の管轄警察署長の確認を受けたもの。

